

良き地としてのキリストを享受する生活をして、  
その結果、宮、すなわち神の住まいと  
都、すなわち神の王国を持つ

聖書：Ⅱコリント 13:14. 1:12. 4:15. 6:1. 8:1, 9. 9:8, 14. 12:9

- I. コリント人への第一の手紙は、旧約におけるイスラエルの子たちの歴史を新約の信者たちの予表としていますが(Ⅰコリント 5:7-8. 10:1-13)、コリント人への第一の手紙の中に良き地の言及はありません。なぜなら、靈的に言って、良き地の実際はコリント人への第二の手紙にあるからです：
- A. コリント人への第二の手紙における良き地の実際は、神聖な恵みとしてのキリストご自身です。主イエス・キリストの恵みは、コリント人への第二の手紙の中心思想、また主題です——Ⅱコリント 13:14. 1:12. 4:15. 6:1. 8:1, 9. 9:8, 14. 12:9。
- B. Ⅰコリント第 15 章 10 節の「わたしではなく、……神の恵み」は、ガラテヤ第 2 章 20 節の「もはやわたしではありません。……キリスト」と等しいのです。使徒を動機づけ、彼の中で活動した恵みは、事柄や事物ではなく、生けるパーソン(ヨハネ 1:16-17)、復活したキリスト、父なる神の具体化であり(コロサイ 2:9. ヨハネ 14:7-11)、すべてを含む、命を与える霊と成って(Ⅰコリント 15:45 後半. Ⅱコリント 3:17)、使徒の中に住んで彼を力づける享受となりました(Ⅱテモテ 4:22. 2:1)。
- C. 恵みとは、神がキリストの中でその霊としてわたしたちに与えられ、わたしたちの享受となり、わたしたちを力づけ、能力を与え、支え、強めて、いかなる種類の問題にも直面し、すべての状況に適合し、いかなる種類の扱いも耐え忍び、いかなる種類の環境も受け入れ、いかなる種類の状態の下でも働き、いかなる種類の機会もとらえることができるようにすることです。それは、わたしたちが良い家令となり、神の多様な恵みを他の人たちの中へと分与して、神の家また神の王国としての召会を建造するためです——Ⅰコリント 15:10. Ⅱコリント 1:3-12. 12:7-9. Ⅰペテロ 4:10. エペソ 3:2。
- II. わたしたちは、神の目にどのような生活をして、良き地によって予表される、すべてを含むキリストを享受することができるようになるかを見る必要があります——コロサイ 1:12. 2:6-7 前半：
- A. わたしたちはキリストの上で労苦する生活、個人的にキリストを享受する生活をする必要があります。それは、わたしたちが団体的にキリストを共に享受して、生ける神の宮、すなわち生ける神の家としてのキリストのからだを

建造することができるためです—— I コリント 3:17. I テモテ 3:15。

- B. 神のみこころは、わたしたちがキリストを享受することです(ヘブル 10:5-10. I コリント 1:9)。わたしたちは、あらゆる状況においてキリストを享受し経験することを追い求める必要があります(ピリピ 3:7-14)。
- C. キリストは計り知れないほど豊富ですが、主の子供たちが怠惰であるので、召会は今日貧しさの中を這いつくばっています——箴 6:6-11. 24:30-34. 26:14. マタイ 25:26, 30。
- D. わたしたちは集会に来て主を礼拝するとき、空手で来るべきではありません。わたしたちの手はキリストの産物で満ちていなければなりません——申 16:15-16：
1. わたしたちは彼を十分に産出しなければなりません。そうしてはじめて余剰を持ち、その余剰を乏しい者と貧しい者に与え、祭司とレビ人に与え、最上のものを主ご自身に与えます——15:11. 18:3-4. 12:11。
  2. キリストをもって神を礼拝することは、互いにまた神と共にキリストを享受することによって、神のすべての子供たちと共に団体的に彼を礼拝することです—— I コリント 14:26。
- E. わたしたちは勝利者になりたいなら、わたしたちの良き地としてのキリストの上で労苦し、わたしたちの享受としてのキリストを獲得する必要があります：
1. 毎朝わたしたちは、主を享受し経験するという単一の目的のために、自分自身を真実に主にささげなければなりません——参照、ピリピ 3:13-14。
  2. 毎日わたしたちは個人的に、またひそかに主と共に時間を費やして、彼と親密な交わりを持つ必要があります——マタイ 14:22-23. 6:6. 出 33:11 前半。
  3. わたしたちは毎日、朝早く御言の中で主を享受して、日ごとに新しい開始を持つ必要があります——詩 119:147-148。
  4. わたしたちは徹底的に罪を対処して、わたしたちと主との間に何もないようにする必要があります—— I ヨハネ 1:7, 9. 参照、エゼキエル 1:22, 26。
  5. わたしたちは瞬間ごとに主との交わりを維持し、祈りの生活をする必要があります—— II コリント 13:14. ピリピ 4:6-7. 哀 3:55-56. 参照、マタイ 11:25-26。
  6. わたしたちは時を贖い取って、また自分のエネルギーを費やして、神の聖なる御言で浸透され、浸される必要があります—— II テモテ 3:16-17。

コロサイ 3:16。

7. わたしたちは時を贖い取って、いつも喜び、絶えず祈り、あらゆる事で感謝することによって、霊の中で満たされているべきです——エペソ 5:18. I テサロニケ 5:16-19。
  8. わたしたちは良き地としてのキリストの豊富を経験するために、わたしたちの霊によって支配され、管理され、方向づけられ、動かされ、導かれなければなりません——II コリント 2:13。
  9. わたしたちは良き地としてのキリストの豊富を経験するために、キリストのパーソン、臨在、御顔の中で生きなければなりません——10 節. 4:6-7. 3:16-18. 12:2 前半:
    - a. わたしたちはすべてを含む地としてのキリストを所有するために、彼のパーソン、彼の臨在によって管理されなければなりません——出 33:14。
    - b. パウロはキリストのパーソンの中で生きていたので、キリストを不変であることとして (II コリント 1:17-20)、柔和と優しさとして (10:1)、真実として (11:10)、力として (12:10. 13:4)、恵みとして (14 節)、彼の中で語る方として (3 節. 参照、2:17) 経験しました。
  10. わたしたちはキリストを恵み、すなわち良き地の実際として受けます。それは聖霊の碎き構成する働きを通してであり、それによってわたしたちの内なる存在は神聖な三一をもって再建されます——II コリント 12:7-10. 13:14。
- III. わたしたちは共に集まって、わたしたちがその上で労苦したキリスト、すなわちわたしたちが享受し経験したキリストを展覧しなければなりません——申 14:22-23 :
- A. わたしたちが集会生活においてキリストを団体的に享受するために、日常生活においてキリストを個人的に享受するとき、神はわたしたちの間におり、わたしたちは彼の住まい、また彼の王国です。
  - B. わたしたちがそのような程度にまでキリストを享受するとき、召会の集会は神で満たされ、そのすべての活動は神を人々に伝達し、伝え、彼らは神を注入されます——I コリント 14:25。
  - C. 神の民が神を真に礼拝することは、すべての人がキリストに満ち、キリストをもって光を放ち、労苦したキリストを展覧するときにあります。
  - D. わたしたちはすべての集会の中で、神への、また参加者への自発のささげ物として語るものをいつも持っているべきです——I コリント 14:26 :
    1. 集会に来る前、わたしたちは集会のために自分自身を準備し、主の何か

を持っているべきです。それは、わたしたちが主を経験することを通して、あるいは主の言葉を享受し、祈りの中で彼と交わりを持つことを通してです。

2. 集会に来た後、わたしたちは靈感を待つべきではありません。わたしたちはわたしたちの霊を活用し、わたしたちの訓練された思いを用いて機能し、主に対して彼の栄光と満足のために、また参加者に対して彼らの益(彼らが照らされ、養われ、建造されること)のために準備したものをささげるべきです——31-32 節。

IV. わたしたちは、主が選んだ場所(わたしたちの霊の中と、一の唯一の立場の上)で主の子供たちと集まり、団体的に礼拝しなければなりません——申 12:5, 11, 13-14, 18. 16:16. ヨハネ 4:24:

A. 第一に、神の聖なる所、彼の住まいはわたしたちの霊の中にあります(エペソ 2:22)。第二に、神の聖なる所は召会です(1 テモテ 3:15)。こういうわけで、わたしたちは神の聖なる所へと入るために、わたしたちの霊に戻り、召会の集会に行く必要があります。わたしたちの霊の中と召会の中で、わたしたちは神聖な啓示とわたしたちのすべての問題の説明とを受けます(詩 73:16-28)。

B. わたしたちは一の真の立場の上で、キリストのからだの唯一の一を保たなければなりません:

1. 召会生活の実行は、一つの都市に対して一つの召会、一つの都市にただ一つの召会を持つ実行です——使徒 8:1, 13:1, 1 コリント 1:2, 啓 1:11。
2. 一の真の立場の上で、わたしたちは主を塗り油、新鮮にする露、命じられた命の祝福として享受します——詩第 133 篇。

C. 主が選んだ場所には四つの特徴があります:

1. 主によって選ばれた場所には、キリストの御名以外のいかなる名もあってはなりません——申 12:5, 啓 3:8。
2. 主によって選ばれた場所は、霊を活用することに満ちています——エペソ 2:22, ヨハネ 4:24, 1 テモテ 4:7, 1 コリント 14:32。
3. 主によって選ばれた場所は、キリストの豊富を享受する場所です——申 12:7, 18, 詩 36:8-9。
4. 主によって選ばれた場所は、喜びの場所です——申 12:7, 12, 18, 詩 42:4, 122:1。

V. わたしたちが良き地としてのキリストのすべてを含む豊富を享受した結果は、宮、すなわち神の住まいとしての、また都、すなわち神の王国として

の召会です——エペソ 2:21-22 :

- A. 宮と都のある地は、神のご計画の中心です——列王上8:48とフットノート1:
1. 地はキリストご自身であり、宮と都はキリストの豊満、すなわち召会、彼のからだです——エペソ 1:22-23. 2:21-22。
  2. 宮は神の表現のためであり、都は神の支配のためです。これは神の永遠の定められた御旨を成就します——創 1:26。
- B. 神の表現のための神の家、すなわち彼の住まいの主要な面は、神の臨在について語ります :
1. 神の家は神の臨在の場所であり、神の臨在は神の栄光(詩 26:8. 29:9)、神の麗しさ(27:4, 8)、神の豊富(36:8-9)です。
  2. 神の家は、啓示の場所と神が答えられる場所です——73:16-17. 3:4. 18:6。
  3. 神の家はわたしたちの隠れ場です——27:5. 参照、31:20. 84:3。
  4. 神の家は、わたしたちが植えられ、栄え、実を結ぶ場所です——92:13-14。
  5. 神の家は泉の場所です——87:7。
  6. 神の家は、わたしたちが力づけられる場所です——68:35. 96:6。
  7. 神の家は、わたしたちが神とミングリングされる場所です——92:10。
  8. 神の家は、神がわたしたちの分け前である場所です——73:26。
- C. 神の支配のための神の都、すなわち彼の王国の主要な面は、神の権威について語ります :
1. 神の都は強い都、大いなる王の都です——31:21. 48:2。
  2. 神の都の中には、喜ばせる流れのある川があります——46:4-5。
  3. 神は彼女の中で知られ、また彼女の中で高きとりでです——48:3。
  4. 彼女は敵にとって恐怖です——3-6 節. 76:2-3。
  5. 彼女は麗しさの極みです——50:2。
  6. 彼女は神の大いなる喜びの目標です——51:18。
  7. 裁きの座は神の都の中に設けられます——122:5。
  8. 主は彼女から他の人たちを祝福し、主は彼女からほめたたえられます——134:3. 135:21。
- VI. わたしたちが良き地としてのキリストを享受することの最終の結果は、手順を経た三一の神と、彼の再生され、造り変えられ、栄光化された三部分から成る人々との神性と人性の合併であり、神の永遠の住まいまた王国です——啓 21:3, 22. 22:5。